

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2014 助成の概要と推薦理由

助成番号 14-1-1

プロジェクト名 地域で病気療養する子どもときょうだいを
支えるための「あそびかた研究会」の実施
団体名 一般社団法人こどものホスピスプロジェクト
代表者名 高場 秀樹
所在地 大阪府
助成額 215万円
助成期間 2015年3月1日～2016年2月29日
設立年 2010年
U R L <http://www.childrenshospice.jp>



この団体は、こどものホスピスの活動の、日本における普及を目指した取り組みを行っている。その中で、病院や在宅における重い病状の子どもたちとそのきょうだいとの「あそびかた」を学ぶ勉強会が、保育士、看護師、医師などの専門職やボランティアなどから求められていたことから、協力団体のしぶたねやあそぼくるとともに「あそびかた研究会」を立ち上げ、2012・2013年助成により取り組んできた。この間、「連続講座」（13回）や「公開講座」（3回）、「あそびかたフェスタ」（1回）等の開催を通じて多数が参加し、経験や技術を共有しあい、日々の仕事や活動に活かしてきた。また、これらの活動を通じてネットワークが広がるとともに、新たな理解者や協力者の獲得にもつながるなど、大きな成果を上げてきた。

今回の助成では、引き続き「連続講座」や「公開講座」などの実施を通じて、3年目を迎えた本活動の定着を図る。本団体は2015年12月「TURUMI こどもホスピス」開館の予定であり、成果はそこにおける活動の質的向上につながることも期待されている。

長期入院・在宅療養する子どもたちとそのきょうだいは、発達段階において大事な役割を担う「あそび」の経験が制限されがちであるが、地域における彼らを対象とした「あそび」が提供できる専門職やボランティアが多数育つとともに、「あそびの人材」（プレイワーカーなど）の育成も期待する。また将来的には、彼らとの「あそびかたを学ぶ拠点」としての展開可能性にも期待して助成した。